

# 民主島根

2016年  
**10.23**  
第1273号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## 9月県議会「合区解消」意見書・大國県議が反対

# 後期高齢者医療改悪やめよ

## 陳情を「趣旨採択」-尾村県議が賛同



尾村・大國県議らと訴える吉井安見県議秘書(7日夕=県庁前)

7日閉会した9月県議会で、「後期高齢者医療制度の保険料軽減特例の継続を求める陳情」(県社保協提出)が尾村利成県議の所属する文教厚生委員会で「趣旨採択」となりました。陳情は、安倍政権が来年4月から、低所得者の保険料軽減措置(最大9割軽減)を廃止しようとしていることに對し、中止を求めるもの。尾村氏は「65歳以上の高齢者世帯の約4割が生活保護基準以下の収入で生活している」と述べ、「軽減特例が廃止されれば保険料が2〜10倍にも跳ね上がり、医療にかかれなくなる事態が広がる」と主張していました。また、「参院選における合区の解消を求める意見書」では大國陽介県議が



反対討論し、「一部の県のみが合区とされる不平等は解消されなければならぬが、最高裁判決が指摘した投票価値の平等は制度改正にあたって最も重視されなければならない」と指摘し、「多様な民意を正確に議席に反映するブロック制による比例代表など抜本的な改革をすべき」と強調しました。

### 松江 県政・市政報告会ひらく

#### 尾村県議、松江市議団ら

日本共産党東部地区委員会は12日、松江市で県政・市政報告会を開きました。

尾村利成県議、片寄直

行、吉儀敬子、橋祥朗の各市議らが9月議会の論戦を報告しました。片寄市議は、島根原発の耐震安全性に関し、党

### 来 向田さとし氏、初当選

#### 無投票で2議席を回復

9日告示された安来市議補欠選挙(定数2)で、



日本共産党の向田さとし氏(60)が無投票で初当選を果たしました。(写真)

前回失った党議席を取り戻し、現有・原田貴与子市議とともに、2議席に回復しました。向田氏は、保育料や教育費、介護保険料・利用

と専門家による原発周辺の海岸調査で「数千年間で数回の地震性隆起があったことを確認した」と述べ、「発見した化石を炭素年代測定し、隆起時期を特定したい」と報告。吉儀市議は、無認可保育園の保育料負担軽減の拡充を求めた結果、10月から拡充されたことを紹介しました。尾村県議は、航空自衛隊美保基地への空中給油機

配備計画を「安倍政権の戦争する国づくりを進めるもので、住民のくらしを脅かすものにほかならない」と批判しました。尾村県議は、病床数を大幅に削減する「県地域医療構想」には、県医師会からも懸念する意見が上がっているとし、「社会保障は削減し、軍事費は増強する安倍政権に退場してもらおう」と訴えました。(写真)

### 松江革新懇 シンポジウム

松江革新懇は15日、市内で国保問題をテーマにしたシンポジウムを開き、日本共産党の尾村利成県議、市保険



の尾村利成県議、市保険事務局長が、保険証を取り上げられ、受診が遅れて死亡に至った事件も起きていると告発。野村課長は、保険料未納者には訪問等で生活状況の把握に努めているとし、「保険

### いのちと健康を守る国保に

#### 尾村県議が「国保の都道府県化」報告

松江革新懇は15日、市内で国保問題をテーマにしたシンポジウムを開き、日本共産党の尾村利成県議、市保険事務局長が、保険証を取り上げられ、受診が遅れて死亡に至った事件も起きていると告発。野村課長は、保険料未納者には訪問等で生活状況の把握に努めているとし、「保険

料引き下げのために、国に財政支援を求めている」と答えました。佐藤氏は今年1月の「経済的理由による受診抑制の実態調査」では治療中断や治療を断った事例が過半数に上っていると紹介。尾村氏は、都道府県化の狙いは住民負担増と徴収強化、給付削減にあると指摘し、「国が住民のくらしと健康を脅かす時、県も市もしっかりとモノを言わなければならぬ」と強調しました。

### 鼓動

オートファジー(細胞のリサイクル)研究の大隈良典さんが、日本人25人目のノーベル賞を受賞した。その研究は、がん治療や老化の抑制にも期待されるという。しかし、本人は「がんや寿命につながる」と確信して研究を始めたわけでもない」と▼受賞後の会見で大隈さんは「役に立つ研究」という言葉が社会をダメにしていく。ゆとりをもって基礎研究を見守ってくれるような社会になってほしい。この研究をしたら役に立つというお金の出し方ではなく、長い視点で科学を支えていく余裕が大事」と語った▼わが国では、研究の「選択と集中」の名の下に、研究費獲得を競わせる政策が先行し、政府が研究の実用化と成果を追い求める。大隈さんは「すぐに企業化できることが役立つ研究だ」との風潮は、基礎研究を空洞化する」と批判する▼最近、ノーベル賞受賞が相次ぐ日本。しかし、その研究成果は、ほとんどが20〜30年前のものばかりで、近年は、若手の基礎研究者が育っていないという。国の研究開発費に占める基礎研究の割合も、フランスの8割に対し、日本は5割。この12年間で大学の基礎的予算は1580億円も削減されている▼安倍政権は、戦争できる国づくりへ軍学共同研究を推奨する一方で、基礎研究費のカットを続けている。大隈さんは、「社会全体で大学の若い研究者を支えるシステムが求められている」と、さっそくノーベル賞の賞金をもとに、若手研究者の奨学金や研究費を助成する仕組みをつくらせると表明した。本来、政府が率先して取り組むべきことである。(吉)

# じん肺キャラバン中国ブロック行動 じん肺・アスベスト被害の根絶を 労働局長、県知事宛てに要請



建交労働中国地方協議会  
労災職業病部会の桐田征  
夫部会長や梶岡寛之事務  
局長らが5日、松江市を訪  
れ、「第27回なくせじん  
肺全国キャラバン中国ブ

ロック行動」をスタート  
させました。島根労働局  
長と県知事宛てに、じん  
肺とアスベスト被害の根  
絶に向けた対策を講じる  
よう要請しました。  
じん肺法が1960年  
に制定されてから56年  
経った現在も、毎年新た  
に約300人が最重症の  
じん肺と認定されていま  
す。  
労働局で、参加者は「ト  
ンネル建設工事の労働時  
間は12時間2交替勤務  
で、恒常的な残業を含め  
10時間労働の実態が未  
だにある」と強調し、「じ  
ん肺の予防と進行を防ぐ  
ために8時間労働の実現

## 地域の話 アソコ

### 松江 介護改悪中止意見書 党市議団が提案

日本共産党市議団は  
9月議会で「介護保険の  
改悪中止を求める意見書  
案」を提案しました。  
吉議員は、提案説明  
で「国は昨年、要支援1・  
2を介護保険から外した  
ばかりだが、今度は要介  
護1・2の生活援助サー  
ビスを外し、福祉用具レ  
ンタルまでも自己負担と  
する方向だ」と指摘。「松  
江市は介護認定者のう  
ち、要支援と要介護1・  
2を合わせると66%に  
も上る。『保険あつて介護  
なし』の影響が出るのは  
明らかだ」とし、大量の  
介護難民を生まないよう

国への意見書提出に賛同  
を求めました。採決の結  
果、意見書案は反対多数  
で否決されました。「新  
しい松江」より

### 松江 国保料1%値上げ 森川議員が反対討論

9月議会には、国保料  
平均11・2%の値上げ  
が含まれた国保会計補正  
予算が提案されました。  
江津市では2年連続の  
値上げで、市民負担増に  
なるにも関わらず、市の  
説明は国保運営協議会と  
市議会のみに行われ、国  
保加入者の多くは、保険  
料額の通知で初めて知る  
というのが実態です。  
森川議員は「全国には、  
値上げの1年前から5回

の説明会を開き、市民の  
納得を得る努力をしてい  
る自治体もある」ことを  
紹介しながら討論。党市  
議団のみ反対しました。  
（「こづつ民報」より）

### 県西部 米軍騒音測定器 国が2カ所増設

中国四国防衛局はこの  
ほど、米軍機の低空飛行  
訓練による騒音測定調査  
のため、益田市匹見町道  
川の道川地区振興センタ  
ーと邑南町日和の日和公  
民館の各1カ所に騒音測  
定器を増設しました。防  
衛局の騒音測定器は県内  
で3カ所目で、運用開始  
は10月1日からです。  
県西部にはこのほか県  
が3市2町に計9カ所、  
浜田市が1カ所、邑南町  
が2カ所に独自に騒音測  
定器を設置しています。

を」と求めました。(写真  
担当者「新規のじん  
肺患者を出さないとい  
立場は一緒。引き続き、  
適切に監督・指導してい  
い」と要求しました。

### 原発ゼロ！ 県庁前・金曜日行動

島根原発再稼働許さな  
い！金曜日行動は、毎週  
金曜日の夕、県庁前で集



く」と答えたのに対し、  
「今の制度や対応では、  
じん肺は根絶していか  
ない。指導を強化してほ  
しい」と要求しました。  
会後(写真)、中電支社  
でデモ行進しています。  
7日の行動には橘祥朗  
市議が参加。鹿児島県  
では脱原発を訴える県知  
事が誕生し、川内原発の  
停止を求めていると紹  
介し、「最終処分場や核燃  
サイクルも破たんしてい  
る原発の再稼働はあり得  
ない」と訴えました。

## 案内板

原発事故から5年——古居みずえ監督が描く  
へこたれない母ちゃんたちの愛しき友情ストーリー

映画「飯舘村の母ちゃんたち 土とともに」

10月30日(日) ①10:00~②13:30~

松江市市民活動センター5F 交流センター

一般前売券1,200円  
(当日券1,500円)

【チケット取り扱い】

島根県民会館  
松江プラバホール  
今井書店主要各店ほか

主催：松江上映実行委員会



## 雲南市議選 11月6日告示、13日投票

# 上代かずみさん 連日奮闘中！ 安倍暴走政治に「ノー」と言える市政を



雲南市議選(定数22)  
が11月6日告示、13  
日投票でたたかわれま  
す。日本共産党は、昨年  
11月に病気で死去した  
多賀三雄市議の遺志を受  
け継ぐため、上代かずみ  
氏(58)に新2の擁立  
を予定し、議席回復をめ  
ざします。  
党が実施した市民アン  
ケートには、前回市議選  
と比べ、2倍を超える回  
答が寄せられ、市政に望  
むことの一番は「国保  
料・税負担の軽減」で、  
「年金が減り、物価や公

共料金の値上げで生活が  
苦しい」「子の進学のため  
に毎日、貯金箱に数百円  
ずつ入れている」などの  
切実な声ばかり・・・。  
しかし、市は国保基金  
残高が2015年度末に  
2億184万円(国保加  
入者1世帯あたり3万7  
千円)もありながら、1  
6年度5・4%値上げし  
ました。また、この間、  
水道料や施設使用料も値  
上げするなど市民に負担  
増を押し付けています。

上代氏は32年間、臨  
床検査技師として働きな  
がら3人の子を育ててき  
た経験や合併前の旧大東  
町議(1期)の経験を生  
かし、「子や孫に未来が託  
せる住みよい市政」へ、  
「市民の声を届け、市政  
のムダをチェックする」  
「国の悪政に『ノー』と  
言える市政を」と訴えて  
います。  
具体的には、①国保基  
金を取り崩し、国保料の  
引き下げ、介護施設・サ  
ービスの充実②住宅リフ  
ォーム助成の継続・拡充  
③農産物の価格保障と所  
得補償の拡充④社会的共  
同生活が困難な集落への  
支援強化などの政策を  
訴えています。



大平喜信衆院議員と宣伝する上代氏